

顔面から全身へ広がった浸出症状を経て再就職した成人アトピーの経過 (30 歳 女性)

症例 ID：001-30-TA4 | 記録日：2016 年 5 月 8 日

1. 診断・治療前経過

小児期から蕁麻疹、口角炎、湿疹、花粉症、生理痛など複数の症状があり、社会人期には下腿の強いかゆみや手足の発疹もみられました。2013 年 1 月の退職後、同年 2 月に松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	皮膚症状や花粉症に対して外用薬・内服薬を使用しました。
製品名	デルモベートクリーム、セレスタミン錠、ジルテック錠、アレロック錠など。
強度	デルモベートはストロングスト級です。
使用期間	受診前まで断続的に使用しました。
中止時期	松本医院での治療開始時期です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2013 年 2 月	治療開始	花粉症と冷えに対する治療から開始しました。
4 月末～6 月	症状拡大	鼻下から口周囲、顎、首へかゆみ、落屑、浸出液が広がりました。
7 月上旬	ピーク	顔が大きく腫れ、全身の赤み、浸出液、不眠、倦怠感が強くなりました。
8 月中旬	変化	浸出液が減り、新しい皮膚がみられるようになりました。
9 月末	外出再開	日中に外出できるようになりました。
11 月末～2014 年 3 月	生活回復	アルバイトを始め、再就職して一人暮らしを開始しました。
2016 年 4 月	再燃	強いストレス後に口唇腫脹、浸出液、頭痛、皮膚症状が出ましたが、アトピー症状は約 2 週間で落ち着きました。

4. ピーク時期

ピークは、2013 年 7 月に顔が大きく腫れ、首・肩・手足まで赤みと浸出液が広がり、横向きに眠れない状態となった時期です。

5. 困りごと

- ・大量の浸出液と皮膚痛により、寝具や衣類の工夫が必要でした。
- ・約 2 か月間、本格的な外出が困難でした。
- ・再燃時は流動食しか摂れない時期がありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。



経過中の皮膚状態。

7. 経過のまとめ

2013 年秋には外出を再開し、同年末にアルバイト、翌年 3 月に再就職へ至りました。

2016 年の再燃時も皮膚症状は約 2 週間で落ち着き、仕事を続けながら治療を再開しました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。